読者のみなさんでつくる みんなの広場

「身近な出来事やイラスト」「テーマトーク」募集中！

娘のおしゃべり

おしゃべりが上達してきた3歳の娘。一生懸命に話す姿にかわいいなぁといやされています。お買物ごっこをしていて、注文を聞かれ迷っていると、「お願いだから、思い付いてよー」と言われて胸がキュンとしました。

輪島市 めえ母

育児中の救世主

育児休暇のときにコープに加入しました。毎日育児に追われる中、食事の準備に全く時間がかけられないときにコープはまさに救世主でした。温めるだけの商品なのにまるで手作りの味!!コープがあるおかげで毎日本当に助かっています。特にハンバーグは絶品です。もう自分でハンバーグを作るのをやめました(笑)。

加賀市 ウメさん

4月号の「産地・メーカーをたずねて」を読んで

静置発酵という言葉を初めて知りました。今川酢造さんでは、酒を造ってから酢を造るという伝統的な時間と手間のかかる造り方をされているということを知って、感動しました。今まで何気なく生協さんで扱っているから、と単純に今川さんのすし酢などを購入していましたが、これからはこの伝統をいつまでも守っていただきたいという気持ちで今川さんの酢を使っていきたいと思います。

内灘町 はる

七尾市 ふうばあちゃん

やさしさに感謝

「仕事で出歩くしコロナ怖いからしばらくは会えんけど収まったら行くね。待っとって!!」と孫からのメール。寂しいけどやさしさに感謝♪来てくれる日を首を長くして待つこの頃。コロナさん早く収まって！と願う日々です。私たちは生協に助けられて穏やかな暮らしです。

白山市 ななみのばあちゃん

受け継いでいます

4月号の「昔の生協」を読んで私も「そう!!」と思いました。生協は母(義母)のマーケットと思っていました。母も年を取り時代も変わりましたが、生協は私が受け継いでいます。今は口座引き落としになり楽になっていますが、カタログを1冊の本を読むかのように楽しんでいます。

金沢市 コバチャン

子どものためにお弁当作り頑張ろう！

保育園のお弁当。フルタイムで働いている私は月1回だけど少し面倒…だと思いつつも、お弁当をとっても楽しみにしている娘ちゃんに「お弁当かわいくして」と言われると頑張ろうって思えます。小学生の息子も新型コロナウイルスの影響で学童へ行く日々。お弁当何日続くんだろう、と毎日カウントダウンをしているときに「ママのお弁当おいしいからうれしー」と言ってくれてとってもほっこり。子どものために頑張らなくては!!

津幡町 こっぺ

ふきでストレス解消！

コロナ騒動の中、近所に住む大学生の孫娘とじいちゃんと3人、無口になりながらふきの皮をむきました。お手伝いが嫌なのかなと思っていたら「もう終わったの？気持ち良くむけるとスカァッとするわ。あぁいろんなストレス解消できたよ！煮上がったらちょうだいよ！」と帰っていきました。

小松市 ゆめばあちゃん

金沢市 コハ(9歳)

テーマトーク 今月は 雨の日の思い出

雨の日のお迎え

今から五十数年前の小学校に入学したての頃、雨が降ると3㎞先の小学校へ母たちが傘を持って迎えに来てくれていました。車移動の今では絶対考えられません。母と一緒に傘をさして帰るのうれしかったなー、と今しみじみ思い出します。

能登町 おじゃまま

雨雲レーダーアプリ大活躍

幼稚園へ通う娘の送迎は駐車場から園まで少し歩かなくてはいけません。雨の日は雨雲レーダーアプリを見て、晴れ間を狙って下の子を抱き抱え、荷物を担ぎ、上の子の手を引いて走ります。小さい子は傘が風であおられたり、雨具を着せたり長靴を履かせても歩くのが遅いのでびしょ濡れになってしまうし、現代の雨雲レーダーアプリさまさまです。

金沢市 祥子千鶴ママ

雨でシャンプー

大雨の日に外でシャンプーを使って頭を洗ってみたいと子どもの頃から思ってもう39年…まだ実現していません。子どもの頃に実現しておけば良かった。

金沢市 リュウカイ

長靴

年中になった娘。少しでも雨が降ると「雨やし長靴履いてく～！」と言って喜んで自ら長靴を履いていましたが、ある日お迎えに行くと少し落ち込んだ様子でした。何があったのか聞くと「みんな雨の日でも靴や。長靴恥ずかしいから履かん！」と。周りの目が気になる年頃になったのかぁ、と実感しました。

中能登町 なっちゃん

雨の詩

小学生の頃、雨の日に体育館でクラスのみんなで暗唱大会の練習をしたことがありました。そのとき暗唱していたのは雨を詠んだ詩でした。雨音を表した「ざんざか ざんざか」というところを大きな声で唱えていると、それに合わせたかのように外の雨が強くなってきました。雨の詩のせいで雨が強くなったみたいで不思議で面白くて興奮しました。あの詩には魔法の力があったりして、と今でも思ったりします。

加賀市 丸秘幽霊那

津幡町 ララ

次回のテーマトークのお題は「カレーの思い出」

まど

機関紙モニターによるエッセイ

古希のスタート

書き人 笑顔すき

3月に古希を迎えました。昔は70歳まで生きていることが希(まれ)であったため、健康長寿をお祝いしたとのことです。

今は女性の平均寿命が87歳とか。自分はというと、少し無理をすると身体の各部分の悲鳴が聞こえます…。でも日常生活に困らないのがまだ幸福なことでしょう。

地域の高齢の皆さんが集まる会合に参加すると、皆さんお元気なのでうれしくなります。身体を動かすこと、他人のお世話をすること、笑ったり、歌ったり、踊ったり…といろいろな活動にイキイキ。目標にしたいです。

自分ができることを考えたとき、退職後始めた傾聴ボランティア活動がありました。認知症の方や、一人暮らしの方、施設入所の方に寄り添って、お話を聞かせていただく！

今の活動を続けて自分も笑顔の似合う明るいばあちゃんをめざします。